

# 令和3年度 幼稚園 学校評価結果公表シート

学校法人 専修学園  
高田幼稚園

当園ではこの度、令和3年度の幼稚園評価として教職員自己評価を実施いたしました。教職員一人ひとりが自らの教育活動や園運営の状況を振り返ることで、現状を見つめ直す良い機会となりました。また、それぞれの評価結果について皆で話し合うことにより、成果や今後の課題、改善の方向性などを明らかにすることができました。この評価結果を深く受け止め、更なる「教育活動の充実・教育環境の整備・教職員の資質向上」に努めてまいります。

## I. 教育目標

当園は、真宗高田派の仏教幼稚園として宗祖 親鸞聖人の御教えを受け継ぎ、「佛の慈悲と智慧の光に照らされて“ほとけの子”として育ち合う」ことを建学の精神とし、命の尊さに気づき、思いやりと感謝の気持ちを持てる子として成長できるよう、【はっきりと挨拶ができる子・自分の気持ちを相手に伝えられる子・ゆたかな情操をもった子・だれとでも仲良く遊べる子・感謝の気持ちを忘れない子・たくましい体力をもった子】を保育目標として掲げ、園児一人ひとりと丁寧に向き合いながら日々の保育に取り組んでいます。子どもは集団生活を通して「ありがとう」「ごめんなさい」の心が生まれ、お互いに受け止め合い、認め合う中で、のびのびと「自分らしさ」を発揮できるようになります。園生活の中で好きなことや得意なことを発見し、「幼稚園ってたのしい!」「明日も幼稚園にいきたい!」と、子どもにとって「安心できる場所」であり続けることを大切にしています。

## II. 今年度の重点目標

- ア 自信をもって勧められる園づくりを目指して
- イ 安全管理体制の持続と強化について

## III. 評価項目と取組み状況

自己評価項目		取組み状況
ア	1 自園の建学の精神・保育目標の理解と実践に努め、また幼稚園教育要領等を通して幼児教育をよく学び、園児の手本となれるよう各自が保育者としての資質向上に努めることができたか。	建学の精神や保育目標を意識して、日々の保育や運営を行うことができた。また、仏さま親鸞さまを身近に感じられるよういつも見守られていることを様々な場面で子どもたちに伝えたり、自身が思いやりや感謝の気持ちを行動や言葉を通して実践し、手本となれるよう努めることができた。一方、幼稚園教育要領等は保育計画を立てる際には参考にしているものの、日々の業務に追われじっくりと学ぶ機会を作ることが難しかった。コロナ状況下でもインターネットでの研修など学びの機会があったが、義務として受け身で受講した感が否めなかったため、今後は自ら積極的に資質向上に努めていく必要があると感じた。 (A できた：20%・B おおむねできた：80%・C できなかった：0%)
	2 キャリアや肩書きにとらわれず、それぞれの立場で保育内容や行事内容・日程に対し意見を出すなど、主体的に園の保育・運営両面の向上を図り、子どもたちの園生活がより充実するよう努めることができたか。	園としての軸を保ちながら、キャリアや肩書きにとらわれず広く柔軟に意見を出し受け止める環境が整っている。職員間の雰囲気も良い。結果、コロナ状況下でも子どもたちへの教育・保育の機会を犠牲にすることなく、より充実した園生活になるよう全体で取り組めた。また、カリキュラムの課題についての改善を図ることもできたと思う。ただ、まだまだ意見や提案を出す職員に偏りがあり、思いを伝えられず受け身になってしまったり、業務に追われ提案できないということもあるので、今後の課題としたい。 (A できた：30%・B おおむねできた：60%・C できなかった：10%)

令和3年度 幼稚園 学校評価結果公表シート

学校法人 専修学園  
高田幼稚園

自己評価項目		取組み状況
ア	3 コロナ状況下でコミュニケーションが図りにくい中でも、保護者へ園児の成長の様子や園（学年・クラス）の現状等を定期的に伝えることができたか。また、家庭での様子や保護者の不安・悩みを聞く機会を意識的に設け、「ともに子どもを育てている意識」を高め合うことができたか。	コロナ感染対策で保護者が園舎内に立ち入れず、担任と話ができない状況の中で、登降園時に些細なことでも保護者と話をする機会を作って子どもの様子を伝えたり、保護者の悩みや不安を聞いたりすることができた。バス通園の保護者には電話も利用した。また、園だより・学年だより・ホームページなどを使い、園の雰囲気や伝わるよう努めることができた。ただ、その時気になる様子の子の保護者とコミュニケーションを取ることが多く、関わりに偏りが見られた。不安などがあっても、遠慮や感染対策への配慮から職員に言い出せない保護者もいたと思われる。すべての保護者とともに子どもを育てている意識を高め合うことができたのかは、課題が残る。 (A できた：40%・B おおむねできた：60%・C できなかった：0%)
	4 いつでも休暇の取得ができるよう、皆で助け合える職場環境づくりに、主体的に参加することができたか。	職員一人ひとりが定期的に有給休暇を取得し、「休暇を取るの悪いことではない」等、気軽に休暇を取れる職場の雰囲気ができている。家庭の事情や体調不良の際にも気兼ねなく休暇を取れるので、家庭と仕事の両立や、ストレスを抱え込み過ぎずに仕事と向き合うことができていた。急に職員が休んだ際にも、保育内容を変更したり人員配置を変えるなど、臨機応変かつ柔軟に対応するスキルが向上したと思う。「おかげさま」「お互いさま」の精神が職場に浸透したことで、職員が自分の役割を必要以上に抱え込まず、チームとして助け合い業務を進めることができた。 (A できた：70%・B おおむねできた：30%・C できなかった：0%)
	5 園児・保護者・同僚を大切な仲間として捉え、その一員として園に勤めることに喜びを感じるようになったか。	子どもたちの成長を近くで見守る嬉しさがあり、その成長を保護者に報告し、喜んでもらうときに幸せを感じる。また、園児を指導の対象ではなく、一人ひとりの存在を大切にしようとしたことで、自分自身にも心の余裕が生まれた。さらに、担任のクラス以外の園児や保護者とも積極的にコミュニケーションを図り、ともに成長を喜び合うことができた。同僚とは上下関係なく、相談し合ったり力を合わせて保育を進められていることに喜びを感じる。また、コロナ状況下で例年以上に、同僚・保護者と力を合わせて子どもを育み、喜び合う仲間として敬意を持って接することができたと思う。とても働きやすい職場であり、楽しくやりがいを持って働くことができていた。 (A できた：70%・B おおむねできた：30%・C できなかった：0%)
イ	1 コロナウイルス感染症や、園児の嘔吐・下痢・怪我等について、適正な対応・処理の方法を園全体で共有・実践できたか。また、日頃より情報収集に努めることができたか。	コロナウイルス感染症に関しては、行政・園医等医療関係者・メディアからの情報・他園の状況等を積極的に収集し、対策にあたることができた。ただ、恐怖が先に立ち情報が交錯する中で、統一した見解を出すことに苦労した。感染対策として本当は何が正しいのかということに関して、まだまだ不安が残る。園児の嘔吐・下痢・怪我等に関しては、園医を講師に招いての園内研修等を行い、動画に記録するなど職員全体で共有・実践につなげることができた。対応の際も、職員間で助け合いながら進めることができていた。ただ、突発的な発生に関しては戸惑うことも多く、今後も知識と経験を積み重ねる必要がある。また、時間勤務職員への共有が十分でないこともあったので、今後の課題としたい。 (A できた：10%・B おおむねできた：90%・C できなかった：0%)
	2 防災・防犯について、既存の形式にとらわれず自らの気づきをアイデアとして出し、訓練の場で実践することができたか。	防災・防犯訓練に関しては、訓練と反省を繰り返し精度を上げることができてきた。受け身の訓練ではなく、職員・園児ともに積極的に訓練へ参加できている。防災訓練は、様々な状況に対し、臨機応変かつ状況判断の上で先の先まで考えて行動できるようになった。訓練の経験を重ねたことから職員が落ち着いて誘導しているのが、園児も落ち着いて行動できている。防犯訓練については、他の学校の実践なども参考にし、様々な状況を想定して行うことができた。ただ、訓練の内容・想定の部分に詰め甘さを感じる。どちらの場合も実際に発生した際はどのような状況になるのか予想ができないので、現状に満足せず、今後も訓練を続けさらなる内容の充実と精度の向上を図っていきたい。 (A できた：30%・B おおむねできた：60%・C できなかった：10%)

IV. 園の評価

A：できた

B：おおむねできた

C：できなかった

B	<p>全職員が学校評価の主旨をよく理解し、主体的かつ積極的に取り組むことができた。また、それぞれで取り組むのではなく、職員全員で共有・実践することによりチームとして取り組むことができた。その結果、各項目についておおむね達成できたと評価している。今後は、現状に満足せず、達成できなかった点についての問題点を掘り起こし、次年度に向けて課題を持って引き続き取り組みを行い、さらなる高みを目指す。 (評価平均 A できた：37%・B おおむねできた：60%・C できなかった：3%)</p>
---	---

# 令和3年度 幼稚園 学校評価結果公表シート

学校法人 専修学園  
高田幼稚園

## V. 今後取り組むべき課題

ア	1	自信をもって勧められる園づくりを目指して	建学の精神や保育目標はそれぞれに意識できているので、今後は理解や実践が自己流に陥ってしまわないよう、定期的に職員全体で確認・共有する場を設けること。職員一人ひとりが現状に満足せず、業務に追われている中でも主体的に学ぶ機会を作り資質向上に努められるよう、園として「学びの環境づくり」を行うこと。そういった「学びの共有」を通して、高田幼稚園の職員であることに胸を張れるよう、またその姿が園児の鑑となれるよう、園全体で積極的・具体的に取り組むこと。
	2		日頃より職員一人ひとりがコミュニケーションを密に取り合い、お互いの思いをしっかりと理解し合う必要がある。そういった関係の構築ができれば、より皆の思いが園運営に反映されると思われる。また、各々が自らの思いを言葉や形にするスキルを身につける必要もある。批判を受けるかも知れないという怖れを持たずに意見を出せるような職場環境を作り、「大人の都合」よりも「子ども」が常に優先される園運営を目指していくこと。
	3		コロナ状況下でいろいろなことが制限されている中でも、保護者の不安や悩み、また園児の様子を知りたい気持ちに対し、既存の考えに縛られず様々な媒体を活用しながら応えていきたい。また、関わる保護者に偏りがなく、会話一つひとつを大切にしたい。職員の言葉一つでかえって保護者に不安を与える場合もあるので、馴れ合いにならず慎重に伝えていくこと。保育を行う上でも園主導になり過ぎず、「子どもは皆でともに育てていく」という気持ちを保護者に共有してもらうためにも、保護者の気持ちにしっかりと耳を傾けいつもオープンな心で園運営を行うこと。担任等に関わらず、すべての職員がすべての保護者との関りを大切にすること。
	4		職員一人ひとりが現状に満足することなく、より休暇が取りやすい職場環境を作れるよう、「おかげさま」「お互いさま」の精神を持って、職員皆で現在の取り組みを継続・向上すること。
	5		職員一人ひとりが現状に満足することなく、幼稚園としての本分は何か、幼児教育とは何かということをも確認し、園児・保護者・職員が園生活に喜びを感じ、安心して通える（勤務できる）幼稚園であり続けることができるよう、今後も努めていくこと。そのための改善点があれば、はっきりと伝え合うこと。
イ	1	安全管理体制の持続と強化について	コロナウイルスに関しては引き続きの情報収集を行うこと。日々更新される情報にアンテナを張り、感染対策スキルや知識もアップデートしていくこと。また、自園の運営方針や状況の中でこういった感染対策が有効なのかを見極めていくこと。園児の嘔吐・下痢・怪我等に関しても、引き続きの情報収集と共有、スキルや知識のアップデートを行い、どのような状況の中でも適正に対応できるようにしておくこと。その中で改善が必要な箇所があれば、職員間で話し合っって早期に改善し、様々な媒体などを活用し情報共有を行うこと。
	2		防災・防犯訓練ともに、現状に満足せず、実際の発生時には予想を遥かに超えた混乱が生じることも想定されるので、そのことを踏まえて訓練の内容を考え、実践していくこと。防災訓練は、形にとらわれず、今後も様々な場面を設定して行うこと。防犯訓練は、今年度はスケジュールの都合で警察の協力を得ることができなかったため、来年度は警察の協力・指導を仰ぐ形を取りたい。また、一年に一回の訓練なので、今後は回数を増やしたり、さすまた等 防犯グッズの取り扱いを日頃より練習するなど、発生に備えておくこと。

## VI. 学校関係者の評価

A : できた

B : おおむねできた

C : できなかった

B	<p>◎おおむね達成された項目は引き続きの取り組みに努めることとし、来年度からは新たな目標を立て、さらに視野を広げることを期待する。 ◎コロナ状況下で外出等に関しては消極的な傾向が見られるが、時間ができた分、家庭での保護者と子どもの過ごす時間が多くなったり、教育現場でも今まで疎かにされてきた部分が大切にされるなど、子どもの環境は充実している印象を受ける。今回の取り組み結果には、そういった背景も影響しているのでは。 ◎大講堂の安全対策や駐車スペースの新たな確保など、施設面での取り組みにも今後期待する。高田本山ともよく相談しながら進めていってほしい。 ◎先生たちの雰囲気良く、預ける保護者としては安心できる園である。一方で、コロナ状況下で先生たちとコミュニケーションを図ったり子どもの様子を見たりする機会が少なく、不安を感じることもあった。コロナ以降の2年間、不安を声に出せなかった保護者も多かったのではないと思う。 ◎どの項目についても、よく取り組んでいると評価する。「A評価」に値すると思われるが、達成されたことで歩みを止めないよう、今後のさらなる向上を期待してB評価とした。</p>
---	---

## VII. 財務状況・その他

<p>公認会計士監査により、適正であると認められている。</p>
----------------------------------